

告示番号	高度先進医療	高度先進医療 適用年月日	医療 機関数
81	筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	平16. 11. 1	1
82	Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	平16. 11. 1	1
83	エキシマレーザー冠動脈形成術(従来の経皮的冠動脈形成術による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	平16. 11. 1	3
84	活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	平16. 11. 1	1
85	抗がん剤感受性試験(CD-DST法)(消化器がん、乳がん、肺がん又はがん性胸・腹膜炎に係るものに限る。)	平16. 11. 1	2
87	胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	平16. 12. 1	1
88	家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	平16. 12. 1	1
89	腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	平16. 12. 1	1
90	膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードVの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	平16. 12. 1	1
92	中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	平16. 12. 1	1
93	三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	平16. 12. 1	2
94	樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がんに係るものに限る。)	平17. 2. 1	3
95	内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	平17. 2. 1	1
96	骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	平17. 2. 1	1
97	泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	平17. 2. 1	2
98	HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	平17. 2. 1	1
99	下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	平17. 2. 1	1
100	頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	平17. 2. 1	1
101	胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHf)例であって、胸腔穿刺後一週間に降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	平17. 4. 1	2
102	活性化血小板の検出(急性期若しくは慢性期の脳梗塞、睡眠時無呼吸症候群又は心筋梗塞その他の動脈血栓症に係るものに限る。)	平17. 4. 1	1
103	早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	平17. 4. 1	1
104	ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	平17. 4. 1	1
105	隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	平17. 4. 1	1
106	末梢血幹細胞(CD34陽性細胞に限る。))による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャール病(重篤な虚血性心疾患又は脳血管障害を有するものを除く。))に係るものに限る。)	平17. 6. 1	1
107	末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャール病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	平17. 6. 1	1
108	副甲状腺内活性化型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	平17. 6. 1	1
109	グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断(ラスマツセン脳炎、小児の慢性進行性持続性部分てんかん又はオプソクローヌス・ミオクローヌス症候群に係るものに限る。)	平17. 9. 1	1
110	腹腔鏡下広汎子宮全摘出術(早期子宮頸がん(臨床進行期Ibまでのもの)に係るものに限る。)	平17. 9. 1	1
111	一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	平17. 9. 1	1
112	自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	平10. 2. 1	7
113	自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	平 8. 11. 1	3

高度先進医療における薬事法未承認・適応外の医療機器・医薬品を含む技術

告示番号	高度先進医療の名称	承認年月日	平成18年8月1日現在医療機関数	平成17年度実績報告時医療機関数	平成17年度実施件数	未承認及び適応外の医療機器・医薬品
36	内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	平成11年6月1日	9	9	38	・超音波凝固切開装置
95	内視鏡下甲状腺がん手術	平成17年2月1日	1	1	0	・腹腔、胸腔ビデオスコープ
56	悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	平成15年4月1日	4	3	22	・色素(インドシアニグリーン、インジゴカルミン) ・テクネフチン酸
61	悪性黒色腫、乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	平成15年9月1日	10	6	100	
103	早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	平成17年4月1日	1	1	1	
57	腫瘍性骨病変および骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	平成15年7月1日	5	2	15	・骨セメント
68	カフェイン併用化学療法	平成16年1月1日	1	1	26	・安息香酸ナトリウムカフェイン
71	胎児尿路一羊水腔シャント術	平成16年12月1日	2	2	1	・内瘻化カテーテル
101	胎児胸腔一羊水腔シャントチューブ留置術	平成17年4月1日	2	2	1	
81	筋過緊張に対するmuscle afferent block (MAB)治療	平成16年11月1日	1	1	0	・キシロカイン0.5%
87	胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	平成16年12月1日	1	1	29	・ラジオ波局所凝固装置 (ジェネレーター・リード)
89	腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	平成16年12月1日	1	1	3	
96	骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	平成17年2月1日	1	1	2	
94	樹状細胞と腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	平成17年2月1日	3	2	1	・インターロイキン2製剤 ・抗原ペプチド
112	自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法 ※	平成10年2月1日	7	14 ※	198 ※	
113	自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法 ※	平成8年11月1日	3			
99	下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	平成17年2月1日	1	1	10	・半導体レーザー ・レーザーファイバー
108	副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	平成17年6月1日	1	-	-	・活性化ビタミンD3

(注1) 上記※印にて示す告示番号112及び113については、平成18年4月1日診療報酬改定時に、「活性化自己リンパ球移入療法」が分裂したものであるため、平成17年度実施件数については、従前の「活性化自己リンパ球移入療法」のものである。

(注2) 平成17年度実績報告の期間は、平成16年6月1日～平成17年5月31日であり、告示番号108「副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法」については、承認年月日が「平成17年6月1日」であるため実績報告の値は無い。